

SUPER-FJ Race report



2021 SUGO チャンピオンカップレース
S-FJ もてぎ・菅生シリーズ 第6戦

Super FJ JAPAN CHALLENGE 第5戦

2021年10月10日 天候:晴れ/ドライ 参加19台



ふたつのシリーズが合併し、新たなスタートを切ったスーパーFJもてぎ・菅生シリーズの初年度も、これにて終了。第6戦は「SUGO チャンピオンカップレース第6戦」としてスポーツランド SUGO で、10月10日（日）に予選と決勝レースが開催された。

すでにチャンピオンを確定させている佐藤樹選手は、年末に控える「日本一決定戦」に集中するため欠場。代わって焦点となったのは、伊藤慎之典選手（テイクファーストチャリ走 10V）と、四倉悠聖選手（ZAP 日本平中自動車 10V ED）によるランキング2位争い、そして果たして初優勝を飾れるか否か。

また前回に続いて、昨年の全日本カート選手権 OK クラスチャンピオンの渡会太一選手（オートボックス ドラゴコルセ）も参戦。前回は7位、5位という結果に留まり、まさにほろ苦いデビューとなってしまったが、1か月あまりでどう成長を遂げているか注目された。

一方、W タイトルでの開催となる「スーパーFJ ジャパン・チャレンジ」は、残すところ2戦。

ここまで出場した3戦すべて制している、岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）も姿を見せており、今回も勝てば出場の如何を問わず最終戦を待つことなく、2連覇が確定する。当然、伊藤選手や四倉選手、渡会選手らにとって厚い壁になるのは必至。逆に言えば、岡本選手は破ってこそ、評価を高めるための存在なのである。



《公式予選》

さて、夜半に降った雨が日曜日の早朝まで残っていたが、スーパーFJの予選が行われる頃には、上空から日差しが注がれるようになり、完全にドライコンディションとなっていた。計測は15分間。いきなりトップに立ったのは岡本選手だったが、最初の2周は完全に肩慣らし。タイヤにもしっかり熱が入って、アタックを開始した3周目からは“秒単位”でライバルを引き離す。

1分29秒604から始まり、次の周には1分29秒299に、いったんタイムを落とすも、1分29秒164にまで刻んでくる。これで決まりかと思われたものの、岡本選手は1周クールダウンを挟んで、ラストアタックでついに1分28秒982を記すまでとなった。

逆に2番手以下は、めまぐるしく順位が入れ替わるものの、しばらく誰も1分30秒を切ることを許さず。その中でも高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）が1分30秒089で、長らく2番手につけていたが、ラスト2周で伊藤選手が1分29秒826をマークして逆転に成功。ラストアタックで高口選手はタイムアップを果たすも、1分30秒045に甘んじ、伊藤選手をかわすことはできなかった。

4番手は渡会選手で1分30秒328。5番手が長谷部一真選手（ALBIREX EDRD10V）、そして四倉選手が6番手で、ここまでが1分30秒台に乗せていた。

ポールポジション：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「8 秒台に入れるのを目標でやっていて、ちょっと出ないかな……と思っていたんですが、最後は躍起になって走って行って、なんとか出たという感じです。ちょっとタイヤは使っちゃったんですが、入れられて良かったです。決勝は今回も、先行逃げ切りで行こうと思っています。上位は鈴鹿勢ですね、みんなで表彰台取れたらいいですね！」



予選 2 番手：伊藤慎之典選手（テイクファーストチャリ走 10V）

「29 秒台には入れる予定でいて、なおかつ練習の様子も見ていてトップとコンマ 5 秒以内におさめたいって気持ちで予選に臨んだんですけど、クリアラップが 1 周しか取れませんでした。その 1 周で出たタイムは失敗もしていたし、僕的には 5 番手ぐらいと思っていたんで、そこはラッキーととらえています。岡本選手はどこ行っても速いから、勝てたら評価上がるじゃないですか？ 逆にチャンスだと思っているので、頑張りたいと思っています」



予選 3 番手：高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「全然、自分がクルマと路面を合わせきれなくて。本当は序盤に出して、ちょっとずつ伸ばしていくつもりだったんですけど、自分のミスもあって、あんまりいいアタックができませんでした。場所取りは良かったのに、思ったよりペースも上げられませんでした。ちょっとトップとはタイム差がありますが、2 番手とはそんなにないので、12 周しっかりレースを楽しめたら、と思っています」



予選 4 番手：渡会太一選手（オートボックス ドラゴコルセ）

「めちゃめちゃ悔しいです、全然うまくまとめられなくて。29 秒には絶対入ったと思うのに、いろんなミスがあって 1 周を完全に決めきることができなかったです。めちゃめちゃ悔しいので、決勝で晴らします」



2021 SUGO Champion Cup Race Series Rd.6
 2021年 JAFもてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第6戦 2021 S-FJ ジャパン・チャレンジ 第5戦 公式予選正式結果表

START :10:35:00
 FINISH :10:50:00

2021.10.10		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE(3.5865km)			天候：晴れ	コース状況：ドライ	発表		
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	BestTime	Ave. Km/h	Laps	Behind
1	8		岡本 大地	KKS-II	FTK・レグ レーシング ガレージ	1' 28.982	145.101	8/ 9	
2	33		伊藤 慎之典	RD10V	ライクファーストチャリ走10V	1' 29.826	143.738	8/ 9	0.844
3	7		高口 大将	KK-s2	FTK・レグ レーシング ガレージ	1' 30.045	143.388	9/ 9	1.063
4	32		渡会 太一	RD10V	オートバックス トライコ コルセ	1' 30.328	142.939	6/ 9	1.346
5	36		長谷部 一真	RD10V	ALBIREXEDRD10V	1' 30.702	142.350	7/ 9	1.720
6	13		四倉 悠聖	RD10V	ZAP日本平中自動車10VED	1' 30.808	142.184	6/ 9	1.826
7	22		内藤 大輝	KKS2	RCIT RaiseUP MT	1' 31.157	141.639	8/ 9	2.175
8	5		板倉 慎哉	KKS II	Fレーシング	1' 31.266	141.470	8/ 9	2.284
9	91		前田 大道	RD10V	ELEVレーシング ドリーム	1' 31.719	140.771	7/ 9	2.737
10	0	G	1 夕田 大助	KKS-2	LAPS	1' 32.368	139.782	7/ 9	3.386
11	35		大川 烈弥	KK-S	7&7 ヒュンD KKS G1AED	1' 32.392	139.746	8/ 8	3.410
12	10		阿部 光	RD10V	ZAP SPEED 10VED	1' 32.480	139.613	9/ 9	3.498
13	21		大友 敦仁	west 07J	加ラウ宮城RaiseUP07	1' 32.638	139.375	5/ 9	3.656
14	17		平 裕介	R&D 10V	ZAP 大窪炉村_10v_ED	1' 32.664	139.336	8/ 8	3.682
15	90	G	2 上吹越 哲也	KKS2	FTK・レグ レーシング ガレージ	1' 33.126	138.644	7/ 8	4.144
16	38		小林 雄太	MYST-KKS	新潟国際自動車コース EDKKS	1' 33.809	137.635	8/ 8	4.827
17	34		磐上 隼斗		新潟国際自動車コース EDKKS	1' 33.817	137.623	7/ 8	4.835
18	9	G	3 安藤 弘人	S-FJ	ZAP SPEED10VED	1' 33.958	137.417	7/ 9	4.976
19	55	G	4 伊勢屋 貴史	RD10V	7&7 ☆あやし眼科☆10V ED	1' 34.188	137.081	6/ 9	5.206

----- 以上予選通過 -----

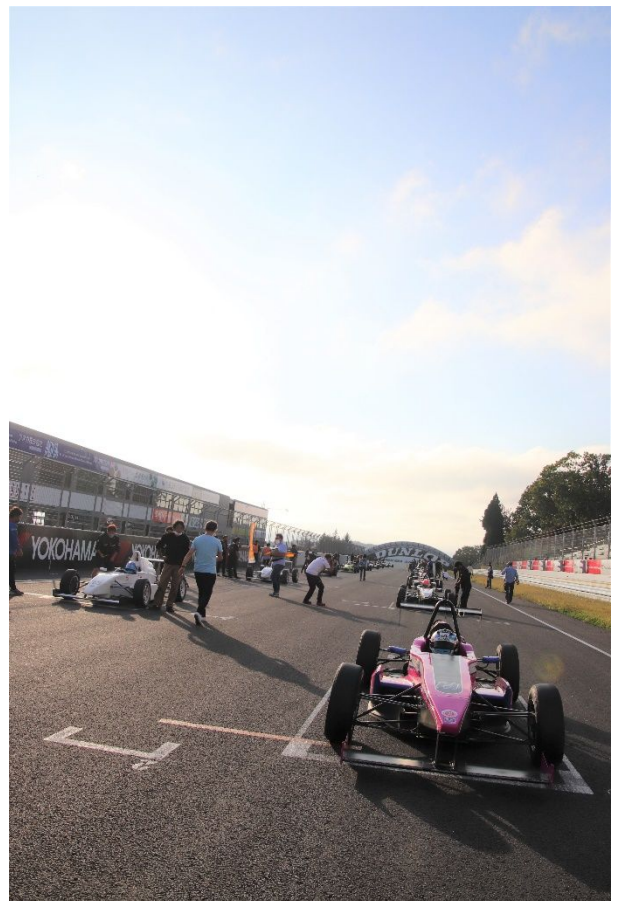
参加台数：19台 出走台数：19台

予選通過基準タイム (130%)1' 56.503

《決勝レース》

決勝レースは15時50分からの開始で、12周で競われる。シーズンの短い東北は、スーパーFJに限らず、これがすべての今季ラストレースとなる。ポールシッターの岡本選手は、スタートをそつなく決めて1コーナーへのホールシヨットに成功。これに伊藤選手が続いた一方で、予選3番手の高口選手が出遅れ、逆に予選4番手の渡会選手が前回の反省を踏まえてスタートを決めたことで3番手に浮上。長谷部選手にも抜かれていた高口選手ではあったが、馬の背で4番手に浮上する。

バックストレートに差し掛かった時点で、もう後続を引き離していた岡本選手は、1周目を終えると1秒6もの差をつけていた。もちろん、その後もアクセルを少しも緩めることなく、ファステストラップの連発で、さらに差を広げていった。一方、その後方では伊藤選手、渡会選手、そして高口選手が激しく2番手を争い合う。2周目のス



トレートで長谷部選手を抜いていた、四倉選手もランキング2位獲得のために、そこに加わりたいところ。だが、長谷部選手も遅れることなく続き、やがて応戦一方となって、前の3台から引き離されてしまう。

7周目の2コーナーで高口選手が、渡会選手を抜いて3番手に浮上。ところが、その直後に後続車両が2コーナーでスピンを喫したことから、車両回収のため3周にわたってセーフティカーが導入される。

これで7周近くにまで達していたリードを一気に失うことになった岡本選手ではあったが、馬の背の立ち上がりから加速とい



う、強気のリスタートをうまく決めて、やはり後続を寄せつけず。何事もなかったかのように、そのまま逃げ続けていって最後は3秒差の圧勝に。しかも、最終ラップにファステストラップとなる1分30秒168を記したあたり、まだまだ余力を残していたのは明らかだ。



なお、岡本選手は4戦4勝で「スーパーFJ ジャパン・チャレンジ」の2連覇が、最終戦を待たずして確定した。

一方、2位争いは渡会選手がリスタートで遅れてしまったこともあり、伊藤選手と高口選手の一騎討ちに。最後まで激しく競い合うも、コンマ5秒差で逃げ切り成功。その結果、伊藤選手がもてぎ・菅生シリーズのランキング2位を獲得。以下、

高口選手、渡会選手の順でゴールし、5位の四倉選手も単独フィニッシュ。逆に長谷部選手は前田大道選手（ELEVレーシングドリーム）に迫られたが、辛くも振り切って6位でゴールした。

また、35歳以上のドライバーを対象とするジェントルマンクラスは、夕田大助選手が最後までトップを譲らず。総合でも9位に入って、貴重な選手権ポイントも獲得している。

「スーパーFJ ジャパン・チャレンジ」の最終戦は、11月21日に富士スピードウェイで開催される。チャンピオンを確定させた岡本選手、そして目下ランキング2位の高口選手は不出場をすでに表明はしている。ただ、今年は東京オリンピック、パラリンピックの自転車競技会場となったことで、富士でのスーパーFJは今年この一戦のみ。意外な展開も期待できそうだ。



優勝：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「今日も行くだけ行きました。スタートからうまくいったんですけど、ちょっとSC後のコンディションが違って、難しかったです。少し冷えたからなのかもしれませんが、なんか違って滑りやすくて。追いつかれるかと思ったんですが、それでも逃げられたので良かったです」

「これで鈴鹿と合わせて、今年もふたつタイトルが獲れましたから、あとは日本一だけ。次で6回目になるんですけど（苦笑）、今年こそ獲りたいですね！ 鈴鹿の上位陣はみんな速いし、今日出ていなかった（もてぎ・菅生チャンピオンの）佐藤くんも鈴鹿に遠征に来て、すごく速くなっているの、あんまり簡単に勝てそうな気がしないんですよ。やっぱりシーズン初めの頃と、日本一までにみんな変わるな、っていうのはいつも思うことで。でも、今年こそ勝ちます！」

2位：伊藤慎之典選手（テイクファーストチャリ走 10V）

「岡本選手はやっぱり速いですね。最初から攻めようと思っていたんですが、ただただ引き離されちゃって。セーフティカーが入った後は、意地でも1コーナーで刺してやろうと思っていたんですけど、最初はうまくついていけたのに最終コーナーで差がついちゃって、そのまんま1コーナー届かなかったって感じでした。ランキング2位は獲れましたが、チャンピオンは出ていなかったし、本当は倒して終わりたいかったです。日本一は今シーズン、鈴鹿もずっと走ってきているので頑張りたいと思います」

3位：高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「フライング気味かと思って、一回クラッチ踏み直したのが原因で、スタート思いっきり出遅れちゃいました。でも、自分のペースがいいのは分かっていたので、その後は落ち着いてすぐ1台パスできて、セーフティカー出る前に渡会選手も抜けて3位には行くことができました。その後のペースは2位の選手にも負けていなかったの、正直2位は狙えたという

ころでは、まだ足りないところがある、課題を感じたレースでした。次はもう日本一決定戦案ですけど、そこまでに課題を克服して、鈴鹿は鈴鹿でまだ速さが足りないので練習を。チームに岡本選手がいるので、いっぱい教えてもらって、日本一に臨みたいと思います」

4位：渡会太一選手（オートボックス ドラゴコルセ）

「スタートに関しては、前回の反省を活かせたと思っています。一步一步進んで入るので、そこは良かったと思います。まだトップ3に比べれば速さがなかったと思いますし、あとはリスタートの仕方。ローリングスタートに離れているんですが、ちょっとタイミング掴むのができず、あれで一気に前とは離されちゃったので。次は日本一になりますが、今日の反省をますます活かしていきたいと思っています」

2021 SUGO Champion Cup Race Series Rd.6

2021 JMRC TOHOKU RACE SERIES Rd.4

2021.10.8-10 SUGO INTERNATIONAL RACINGCOURSE



主催：株式会社菅生/菅生スポーツクラブ

協賛：横浜ゴム株式会社

2021 SUGO Champion Cup Race Series Rd.6

2021年 JAFもてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第6戦 2021 S-FJ ジャパン・チャレンジ 第5戦 決勝正式結果表

START : 15:58:39

FINISH : 16:19:13

2021.10.10		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE(3.5865km)				天候：曇り		コース状況：ドライ		発表		
Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap		
1	8		岡本 大地	KKS-II	FTK・レグ・レーシング・ガレージ	12	20'34.130		125.543	1'30.169	12	
2	33		伊藤 慎之典	RD10V	テイクファーストチャリ走10V	12	20'37.142	3.012	125.238	1'30.874	10	
3	7		高口 大将	KK-s2	FTK・レグ・レーシング・ガレージ	12	20'37.656	3.526	125.186	1'30.675	12	
4	32		渡会 太一	RD10V	オートボックス ドラゴコルセ	12	20'40.119	5.989	124.937	1'31.064	11	
5	13		四倉 悠聖	RD10V	ZAP日本平中自動車10VED	12	20'41.543	7.413	124.794	1'31.148	11	
6	36		長谷部 一真	RD10V	ALBIREXEDRD10V	12	20'43.108	8.978	124.637	1'31.538	4	
7	91		前田 大道	RD10V	ELEVレーシング・ドリーム	12	20'43.376	9.246	124.610	1'31.674	10	
8	22		内藤 大輝	KKS2	RCIT RaiseUP MT	12	20'47.995	13.865	124.149	1'32.671	5	
9	0	G	1	夕田 大助	KKS-2	LAPS	12	20'48.464	14.334	124.102	1'32.826	11
10	5		板倉 慎哉	KKS II	レーシング	12	20'48.805	14.675	124.068	1'31.950	11	
11	10		阿部 光	RD10V	ZAPSPEED 10VED	12	20'51.881	17.751	123.763	1'33.416	12	
12	90	G	2	上吹越 哲也	KKS2	FTK・レグ・レーシング・ガレージ	12	20'52.395	18.265	123.712	1'32.973	12
13	35		大川 烈弥	KK-S	7&7 ヒート KKS G1AED	12	20'53.635	19.505	123.590	1'33.247	12	
14	17		平 裕介	R&D 10V	ZAP_大窪炉材_10v_ED	12	20'54.512	20.382	123.504	1'33.387	11	
15	21		大友 敦仁	west 07J	加う宮城RaiseUP07	12	20'55.150	21.020	123.441	1'32.991	11	
16	55	G	3	伊勢屋 貴史	RD10V	7&7 ☆あやし眼科☆10V ED	12	20'58.160	24.030	123.146	1'33.812	11
17	9	G	4	安藤 弘人	S-FJ	ZAPSPEED10VED	12	21'02.442	28.312	122.728	1'34.910	12
18	34		磐上 隼斗		新潟国際自動車レース EDKKS	12	21'02.667	28.537	122.706	1'34.616	12	
					----- 以上完走 -----							
	38		小林 雄太	MYST-KKS	新潟国際自動車レース EDKKS	6	9'44.042	6 Laps	132.642	1'34.221	6	

参加台数:19台 出走台数:19台 完走台数:18台

ベストラップ: 8 岡本 大地 1'30.169 12/12 143.191km/h

SC導入 16:09:09 ~ 16:14:42(7周 ~ 9周)

